

# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立春江中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和8年度の目標	60.0%	60.0%
令和7年度の目標	60.0%	60.0%
令和6年度の結果	50.0%	50.1%
令和5年度の結果	59.5%	50.2%

令和6年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第2学年	39.9%	45.5%	33.3%
第1学年	38.0%	47.1%	35.6%



## 目標達成に向けた取組

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<p>学びの主体性を引き出す工夫「令和の日本型学校教育」の推進…学ぶことが楽しい！自分でもっと学びたいと感じることができる授業を目指す。生徒が各教科の見方・考え方を働かせ、興味・関心・探求心をもって授業に臨むようにICTを活用し、学ぶ喜びや楽しさを実感させ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を推進し、基礎学力の定着と確かな学力の向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した学習者を育成するため、ルーブリック評価による学習のねらいの掲示と評価の工夫</li> <li>・単元テスト・小テストの実施</li> <li>・ICT活用の推進（オクリンプラス・ドリルパーク）</li> <li>・国語、数学、英語等で正答率80%以上を目標とした漢字、計算、スペリングコンテストの実施（コンテストに向けた朝学習）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習のすすめ」の配布</li> <li>・自己管理ノート「Foresight手帳」を活用し、先を見通して行動できる自己管理能力の習得を目指し、生徒自身が目標に向かって自分で考えた計画を実行し、Try &amp; Error、成功・失敗体験を得ながらPDCAサイクルで自己調整しながら自己学習力を高め、学習習慣の定着を図る。</li> </ul>
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<p>各教科の授業では、生徒が各教科に応じた見方・考え方を働かせ、主体的に学習に取り組ませるために、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」など学びの意義を実感できるように各授業で学習のねらいやルーブリック評価など学習の目標や内容を明示し、定期考査とは別に単元テストなど評価場面や評価方法を工夫し、信頼性のある適切な評価・評定を行い、指導と評価の一体化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」に対する苦手意識の緩和…全教科およびあらゆる機会に、感想を考え、自分の意見を書くような自分の気持ちを伝える取組を増やし、生徒の「書くこと」に対する苦手意識をなくすことを目指す。</li> <li>・放課後補習教室と連携し、基礎学力の定着を図る。</li> </ul>	<p>Foresight手帳を活用し、生徒の意識を変え、自身の「なりたい」「やりたい」を明確にさせ、「自ら考え行動する生徒」への変容を図り「自己管理能力」を育成する。時間の見える化により、生徒の生活の立て直しを図り、学習への意欲を喚起し、行動計画を立てさせ、自分の進路実現に向かうように主体性に行動できるようにする。</p>
成果指標	<p>生徒満足度アンケート「次の授業で、あなたは、学習課題『何を学ぶのか・どのように学ぶのか・何ができるようになるか』など目的や目標を考えて、主体的に学習に取り組んでいますか」での肯定的な回答 平均85%以上</p>	<p>生徒満足度アンケート『次の授業は、よくわかりますか』での肯定的な回答 85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査での「授業時間以外の勉強時間」 1時間以上の回答割合 85%以上</li> </ul>